

# 平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成15年8月8日

上場会社名 リョービ株式会社

(コード番号: 5851 東証第1部)

(URL <http://www.ryobi-group.co.jp/>)

代表者 取締役社長 浦上 浩

問合せ先責任者 取締役財務部長 田中 孝雄

(TEL: (03) 3501 0511)

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識 : 有  
の方法との相違の有無

(内容)

- ・固定資産の減価償却の方法 ..... 当中間期見込額のうち当四半期分を計上しております。
- ・法人税等の計上基準 ..... 法定実効税率をベースとした予測税率により計算しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

## 2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年6月30日)

経営成績(連結)の進捗状況 (単位 百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年3月期第1四半期	37,472 -	2,009 -	1,987 -	1,254 -
15年3月期第1四半期	- -	- -	- -	- -
(参考)15年3月期	156,457	8,452	8,045	4,470

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第1四半期	7 45	-
15年3月期第1四半期	-	-
(参考)15年3月期	26 26	-

(注) 四半期業績の開示は当第1四半期から開始しましたので、前年同四半期の業績及び増減率については記載しておりません。

### [経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当四半期のわが国経済は株式市況の持ち直しなど一部に明るい兆しが見られましたが、依然として個人消費が低迷するなど先行き不透明な、厳しい状況が続きました。また、米国経済の回復テンポの鈍化や重症急性呼吸器症候群(SARS)の影響などもあり、世界経済も全体的に低調でした。

このような情勢のもとで、当社は積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化など、諸施策を実行しました。

これにより当四半期の売上高は374億72百万円となりました。事業別の売上高構成は、ダイカスト事業が70.1%(平成15年3月期は68.9%)、印刷機器事業が13.1%(同14.5%)、住建機器事業が16.3%(同16.0%)でした。ダイカスト事業は北米向け自動車輸出減少の影響を受けましたが、国内トラックメーカー向けなどが増加し、概ね堅調に推移しました。印刷機器事業、住建機器事業は当初の想定どおり、ほぼ計画の範囲内で推移しました。

利益面では「経営健全化計画」実行の効果、コスト削減、生産性向上などにより、当初想定した利益を若干上回りました。

### (参考1) 四半期個別経営成績の概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	24,798	968	1,097	630

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
				円 銭
中間期	75,000	3,700	2,300	13 66
通期	152,000	8,100	4,900	29 10

[業績予想に関する定性的情報等]

平成15年5月20日（平成15年3月期決算発表時）に発表した中間期、通期の業績予想に対して、売上高はダイカスト事業の北米自動車向けが減少するものの他の分野でカバーできる見込みであること、利益面では「経営健全化計画」実行の効果などにより若干良化する見込みであることから、業績予想を次のとおり上方修正します。

5月に発表した中間期、通期の業績予想に対して、売上高はそれぞれ10億円増加、経常利益はそれぞれ4億円増加、当期純利益はそれぞれ1億円増加する見通しです。これにより通期の経常利益は前期比増益に転じ、中間期、通期とも前期比減収、経常増益、当期増益となる見通しです。

個別業績予想（単独）については、5月発表値に対して中間期、通期とも売上高の変更はありませんが、経常利益はそれぞれ2億円増加、当期純利益はそれぞれ1億円増加する見通しです。

（参考2）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
				円 銭	円 銭	円 銭
中間期	51,000	2,300	1,300	0 00		
通期	105,000	5,700	3,300		0 00	0 00

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上

## 四半期連結（要約）損益計算書

（単位 百万円未満切捨て）

科 目	当第1四半期 (15.4.1～15.6.30)		前連結会計年度 (14.4.1～15.3.31)	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比
		%		%
売 上 高	37,472	100.0	156,457	100.0
売 上 原 価	30,193	80.6	126,536	80.9
売 上 総 利 益	7,278	19.4	29,921	19.1
販売費及び一般管理費	5,269	14.0	21,469	13.7
営 業 利 益	2,009	5.4	8,452	5.4
営 業 外 収 益	380	1.0	1,771	1.1
営 業 外 費 用	402	1.1	2,178	1.4
経 常 利 益	1,987	5.3	8,045	5.1
特 別 利 益	33	0.1	756	0.5
特 別 損 失	15	0.1	2,789	1.8
税金等調整前当期純利益	2,004	5.3	6,012	3.8
法 人 税 等	752	2.0	1,503	0.9
少 数 株 主 損 益	2	0.0	38	0.0
当 期 純 利 益	1,254	3.3	4,470	2.9